

No.10 仮定法の重要表現②

(1) He treats me as if I ( ) his son.

- ① would be ② could have been ③ were ④ would have been

(2) 次の日本語と同じ意味になるように記号を選びなさい。

“彼女はまるでその事故を目撃したかのように話した”

She talked as if she ( ) the accident.

- ① saw ② had seen ③ has seen ④ would see

「まるで～のように」のポイント

as if S V～

「まるで～のように」

- ① as if 節内の V が主節の V と**同じ時制**の時  
as if 節内の V の部分には**過去形**が入る(仮定法過去)
- ② as if 節内の V が主節の V よりも**前の時制**の時  
as if 節内の V の部分には **had+過去分詞**が入る(仮定法過去完了)

(ex1) He looks as if he were ill.

(彼はまるで病気であるかのように見える)

(ex2) He looks as if he had been ill.

(彼はまるで病気であったかのように見える)

「まるで～のように」の注意点

- ① as if 節内は仮定法だけでなく直説法も使われることがある  
(ex) He looks as if he is sick.  
(彼はまるで病気であるかのように見える)
- ② as if は as though に書き換え可能
- ③ as if to V 「まるで V するかのように」

【解答】

(1) ③ (2) ②

【解説】

(1) as if 節内の動詞の部分には過去形もしくは had+過去分詞のどちらかしか入らない。  
選択肢から迷わず③を選ぼう。なお、今回は as if 節内の動詞には過去形が入るので、主節の扱うの部分の時制が as if 節内の息子であるの部分の時制と同じであると判断できる。

【訳】 彼はまるで私が彼の息子であるかのように私を扱う。

(2) as if 節内の事故を目撃したの部分と主節の話したの時制を比べてみよう。事故を目撃したのは、話したよりも前のことだと分かるので、as if 節内の動詞の部分には had+過去分詞である②を入れてやればよい。